

東 都 大 学 図 書 館

通信幕張キャンパス 第16号

【編集】幕張分館司書 井本紗織

【編集協力】幕張分館図書館運営委員会

看護学科……………前川一恵・阿部由喜湖

理学療法学科…小久保博樹

臨床工学科……………山下知子

分館長挨拶

理学療法学科 教授 小久保博樹

4月から幕張分館長を拝命することとなりました理学療法学科の小久保と申します。皆様が利用しやすい図書館となるよう努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

ところで皆さんは、どのような時に図書館を利用しますか？私は、学生の頃、大きく分けて3つの理由で利用していました。

まず、自習をしたい時です。定期試験の勉強のため、空きコマの時間や放課後に利用していました。幕張分館では、14台の個人用キャレル(勉強机)が用意されていますし、6人掛けのテーブルも3台用意されています。皆さんも、静かに勉学に勤しむ場所として、是非図書館を活用して下さい。

次に、調べ物をする時です。私は、自分の研究テーマに関連する文献を探すため、よく書庫に通っていました。色々な物事のルーツを探って原著(情報の発信源)まで遡ろうとした時、蔵書のありがたみを実感していました。今は、ネットから情報を簡単に得ることが出来ますが、誤りが含まれている可能性が高いのが実情です。正確に調べたい時は、書物から情報を得ることをおすすめします。

最後に、新刊や世間で評価を得て話題となっている本、本屋やネットで見かけて気になっている本を手に取りたくなった時です。幕張分館では、新刊がタイムリーに入るように、司書さんが頑張ってくれていますので、直ぐに借りることができます。なければ、リクエストすることができます。その点が、幕張分館の魅力の一つだと思っています。

借りなくても、ただ気になったところをちょっと読んで、そのまま元の場所に戻すだけでも充分です。本を手にとって、タイトルや作者、書いてある内容を最低限のレベルで把握できれば、時々現れる本好きの方との会話において大いに役立つからです。私は、初対面の人と接する時にふと訪れる静寂が苦手なので、相手に関心のありそうな話題をできるだけ提供できるように、幅広く情報を得るようにしています。相手の関心のある話題は相手を饒舌にさせ、静寂を自然と回避できるだけでなく、お互いに楽しい時間へと転換できます。皆さんも社会に出ると、様々な世代の人々と交流する機会が増えます。本を手にとって、その時の話題の引き出しを増やしてみませんか。

今回、私の個人的な図書館利用法を書いてみましたが、いかがでしたでしょうか。もし、他にもこんな利用法があるよという方は、是非お知らせ下さい。

Pick Up! ～大学生にも16人に1人 ヤングケアラー～



ヤングケアラーとはどのような人たちか、どのようなケアをしているのかがわかりやすく説明されています。

地方自治体、学校、病院などが彼らをどのようにサポートしているかにもふれられていますので、医療・福祉関連の職に就く皆さんには一読してもらいたい一冊です。

『ヤングケアラー 考えよう、だれも取りのこさない社会』

濱島淑恵 監修 文溪堂

2022年 367.61/H 【開架】

幼稚園のころから、買い物・料理・そうじ・洗濯など家族の世話を一手に担う主人公が、自分の人生を再生するまでの物語。色々な人の体験談をミックスしていますが、すべて実際にあった出来事です。マンガなので、読むのに時間はかかりません。活字が苦手という方はこちらからどうぞ。

『私だけ年を取っているみたいだ。』

ヤングケアラーの再生日記』 水谷緑 著 文藝春秋

2022年 726.1/M 【開架】



2021年、本屋大賞受賞作。2024年には映画化も決定しています。ヤングケアラーだけではなく、様々な社会問題の当事者が登場し、現実的に当事者にどのように関わっていくか、その難しさも描かれます。「虐待されていた子が救われてよかったね」というファンタジーでは終わらないからこそその濃密さを味わってください。

『52ヘルツのクジラたち』 町田そのこ 著 中央公論新社

2020年 913.6/M